

# JAUW 茨城支部だより

2011年度-3号

URL <http://jauw-ibaraki.net/> 2011年11月17日 社団法人 大学女性協会(JAUW)茨城支部 発行



限りなく高い秋晴れが続き、深まる季節が次第に街中を彩っていきます。夕暮れが早くなり、せわしさが増すばかり。仕事が遅々として進みません。しかし、実りの秋です。

9月定例会は『もっと素敵に情報発信』一般参加者40名を迎え、水戸芸術館で公開講演会を行いました。現在、情報発信ワーキンググループはひたちなか市の「市民セミナー実践企画塾」に参加し、人に伝わる企画力、情報発信力の向上を目指しています。企画力コンペへの応募を計画しているところです。

10月にはJAUW本部から青木会長、阿部副会長、鷲見理事3名が来水し、茨城支部会員の東日本大地震被災に対して丁寧なお見舞いの言葉をいただきました。急な水戸訪問のお申し出により会員全員へのお知らせができません、役員らで対応させていただきました。事後報告になりましたがよろしくご理解のほどお願い致します。

11月定例会は又エックのJAUW全国セミナー参加でしたが8名の参加申し込みがあり、『家庭科教育アンケート』の本部及び5支部合流の会議がもたれました。この会議では茨城支部の先導的実力が発揮され、当会家庭科教育調査プロジェクトチームの提案するアンケート内容で方向が示されつつあります。

このような充実した活動も先輩会員が営々と築き上げた実績の積み重ねです。今後とも、多くの方のご参加、ご協力をお願いいたします。  
(今高記)

## 平成24年 新年会のお知らせ

日時 平成24年1月28日(土) 11:30

集合場所 フランス料理 ラ・シャロント

(レストラン前に駐車場あります)

つくば市筑穂 3-1-6 TEL 029-864-8778



11:30 パキスタン研修生との交流〈予定〉

12:15 会食 洗練された本格フレンチ料理をお楽しみください

13:30 希望者は北条ヘドライブ

14:00 矢中邸見学ツアー 国の登録有形文化財 (昭和初期近代和風住宅)

15:00 解散

会費 4,000円 (内訳: 昼食 3,200円 矢中邸協力金 800円)

お返事は同封葉書 FAX & メール で (12月15日必着)

## 9月定例会報告

さる9月10日まだ残暑の続くなか、東日本大震災による休館から再開したばかりの水戸芸術館において公開講演会を開催しました。

責任ある情報発信能力を身につけることを目指し、講師に筑波技術大学の須田裕之教授をお招きしてお話を伺いました。須田裕之先生には、2002年、2003年に巨りメディアリテラシーに関する講話を頂いた経緯があり、茨城支部にとってのICTを加速するきっかけとなっています。

講演では、便利なツールとして利活用が進んでいるインターネットでの情報受発信にあたって、その最新情報や配慮すべきルール&マナーなどについての説明を受けました。さらに、事前に寄せられた質問についても丁寧に解説頂き、会員にとっても日頃の疑問解消に向けた一助となりました。

今回チラシなどで広くお誘いしたところ、会員以外の若者を含む40名以上の参加を得て、2時間を超えるプログラムに熱心に聞き入る姿がみられました。

講演の後、芸術館内の現代美術ギャラリーにおいて、館との関わりを持つアーティストたちの作品を思い

思いに鑑賞し、満ち足りた一日となりました。

なお、公開講演会の開催にあたり、館内の会議室を好意的に貸与下さった水戸芸術館には、心より感謝するばかりです。

(牧野 記)

### 参加者の声

## もっと素敵に 情報発信、須田裕之教授（工学博士）の講演会に出席して

40名の方が出席して盛会でした。多数の若い社会人の出席があったのは、テーマが彼達の必要性和合ったのでしょう。私達にとっても基本的で貴重な教えでした。

須田教授は筑波技術大学で聴覚や視覚に障害のある学生（日本国内唯一の国立大学、2005 設立）を教えています。<http://www.tsukuba-tech.ac.jp/introduction.html>

私は教授に前もって Blog にのせるための写真と質問を送っています。問題点があったのでスクリーンでは見なかったのですが、講演の後で話す機会があり、ここで報告をします。

<私の質問>片岡球子（2008年死亡）の作品がインターネットに多数あり、コピーを Blog に添付しても良いかどうか？

<須田教授の答え>この例は絶対に許せなく、講演にこの作品のコピーをスクリーンで説明をする場合は持ち主の許可が必要だそうです。その他の質問に対する回答は下記のとおりです。

\*お墓の写真はお寺さんの土地に入り、しかも 写真は人の霊を取る として嫌う方がいるので避けたほうが良い。

\*50年以上の芸術作品は個人所有権がなくなり、自由に撮影しても良いはず。自分のカメラで撮すと写真芸術になり、カメラマンの所有物です。ただし状況、芸術作品の持ち主の意向もあり、ケースバイケースで判断すべき。

\*街角の家の写真は自由に使用しても良いが、持ち主の名前、駐車中の車の番号、詳細な家庭的な写真はダメ。家の外は人に見せるためと考えるそうです。

\*立ち入り禁止の野原でゴルフを練習する人や、犬を散歩させる人の写真を添付して、立ち入り禁止の云々を記事にすると、告発することになりかねない。

(S.H 記)

## 不安解消！！ もっと素敵に情報発信

### プログラム

- 第1部 講演  
「インターネットでの情報発信のマナーと考え方」
- 第2部 質疑応答  
「私らしい情報発信 ～ICTを味方につける～」
- 第3部 現代美術鑑賞  
『CAFE in Mito 2011 かかわりの色いろ』



## 2011年度JA UW全国セミナー報告

10月15日(土)～10月16日(日)、JA UWの全国セミナーが国立女性教育会館で開催された。茨城支部から本部役員の城倉さん、牧島さんも含め、今高支部長筆頭に総勢8名が参加した。

「改めて問う、『市民社会を構成するNGO活動』とは」をテーマに、二日間に亘り、研究発表・講演会・パネルディスカッションが展開された。一日目の前半は6支部の研究発表を、後半には委員会の調査研究発表がなされた。静岡支部、神戸支部、新潟支部、神奈川支部、岡山支部、福井支部からは、様々な角度から、市民社会を構成するNGO活動について、研究実践報告がされた。委員会調査研究発表では、国内NGO委員会として、支部会員の牧島さんが、「女性を政策方針決定の場へ一割り当て制(クォーター制)の導入をー」発表された。その夜は、懇親会終了後に家庭科教育プロジェクトチームの意見交換会が持たれ、本部と支部の共同研究について、様々な課題について、熱心な質疑が、10時過ぎまで真剣に語られた。

二日目は、「市民社会を構成するNGO活動」と題して、大西玉枝氏の基調講演があり、それを受けて、個性豊かな分野のパネリストから実践的研究の報告がなされた。支部からは、城倉さんが日常活動を通して、展開している出前講座の実績を通して、市民啓発に取り組んでいる様子や本部支部の望ましい役割分担について言及された。その後、懇談会・全体のまとめで、2011年度の全国セミナーは閉じられた。

(牧島 記)

### 参加者の声



## 2011年度JA UW全国セミナーに参加して

初めて又エックで行われた全国セミナーに参加しました。各支部からの活動報告、懇親会、基調講演ならびにパネルディスカッションなど内容の濃い2日間でした。

とくに大学女性協会の持つネットワークの広さに圧倒される思いがしました。全国の支部の皆様のお話をうかがい、また海外の大学女性協会の状況についての報告を聴くことで、大きな刺激を受けました。現在、社会で起こっている様々な状況に対し、自分にもできることがあるという勇気を得る時間でもありました。



それと同時に、又エックを初めて訪れたことも、私にとって実りの一つとなりました。学生時代より自己研鑽ができる場所として又エックを何度も紹介されてきましたが、訪れることがないまま年月が経っておりました。朝日に照らされた美しい初秋の庭を散策しながら、学習の場を新たに得た喜びを感じました。

最後になりましたが、全国セミナーの参加を後押しして下さった茨城支部の皆様へ感謝しております。皆様のご配慮があって、今回の経験が出来ました。全国セミナーを通じて学んだことを今後活かしていきたいと思っております。

(N.I 記)

## 「ジェンダーの視点から家庭科教育を考える（調査）」

### 第1回、第2回プロジェクトチーム会議報告

前回の支部だよりでは、上記調査における茨城支部独自のプロジェクトチーム（以下、PT）を立ち上げたことに伴い、支部会員のみならずPT参加のお誘いをいたしました。そしてその後2回の会議を実施し、両日ともに活発な議論が展開されています。そこで今回は、この2回の会議についてご報告したいと思います。

☆ 第1回会議 2011年8月22日

県内高校で使用されている家庭科教科書数冊を資料として、現在の家庭科について話し合いました。現在の家庭科教科書は非常によく構成されていること、また多くの高校が資料集という副教材を用いていることがわかりました。

☆ 第2回会議 2011年9月5日

高校生に実施するアンケート調査（本部作成）の内容について議論しました。その後会議で出された意見をまとめ、本部へ提出いたしました。

現在PTのメンバーは8人ほどです。次回のPT会議は11月22日（火）10時～（女性プラザ男女共同参画支援室）ですので、これまでの会議に出席されていない方も、どうぞご参加ください。

（中島 記）

### 青木会長・阿部副会長・鷲見理事をお迎えして

全国セミナーを1週間後に控えた10月8日、青木会長はじめ理事会本部が以前から気にかけておられた「茨城県における被災者への哀悼と慰問」のため、理事会から3人の方たちが茨城支部を訪問された。鷲見理事は調査・研究担当の理事で、茨城支部が参加している家庭科教育に関する調査・研究を協働する本部教育委員会の担当理事である。



当初、お忍びでの訪問ということで、支部でも役員と支部長経験者等にお集まり頂くことにしたが、訪問直前の10月の理事会では議題に挙げられ、訪問についての説明がされた。

千波湖畔のとう粹庵に支部会員14人がお迎えし、被災状況の報告が中心ながらも和やかな懇談会となった。支部会員同士もお互いに知らずにいた被災状況を知り、有意義な情報交換の場となった。茨城を楽しんでいただく十分な時間が無く、また役員会を後に控え、おもてなしが十分にできず残念であったが、千波湖の美しい初秋の風景を楽しんでいたのは幸いだった。（牧野記）

編集後期：9月定例会に続き青木会長の訪問・全国セミナー等々会員の皆様は慌ただしい月日の日々だったと思われます。その一端でもこの支部だよりで伝わりますことを願って編集いたしました。新年会で元気な会員の皆様にお目に掛かれるのを楽しみに。

編集幼稚園✿組 (T. H)

